

## さらに同署等が連携して 技術開発担当者会議を開催

一月九日(水)・一〇日(木)の二日間、局及び四万十署管内において、平成二八年度技術開発担当者会議を開催しました。

初日は、局で開催し、先ず、中川技術普及課長から、林業の技術開発の現状を踏まえ、今後とも、局署等が連携した取組が大切との挨拶を受けて会議に入りました。

会議では、昨年度、本会議で出された意見や要望等(試験地設定など)について説明を行いました。続いて、

- ①平成二八年度 技術開発課題(森林技術・支援センター)について、
  - ②コウヨウザン試験地・低密度植栽地・第二世代ヒノキ精英樹試験地(何れも四万十署管内)について、
  - ③四国森林・林業研究発表会(二九年一月二四日(火))について
  - ④国有林野事業業務研究発表会(二月一日(火) 於 林野庁)について
  - ⑤センダンの成長等の報告後、意見等を出し合いました。
- 今回の会議で出された意見や要望等を踏まえ、引き続き局署等で連携して技術開発に取り組んでいきます。(二日目は、下段左に)

## 2日目は「シカ被害地での 現地検討会」に

技術開発担当者会議の2日目は、「シカ被害地での低コスト再造林現地検討会」(四万十署管内コピ穴山国有林 四万十町大正)に参加しました。

開会では、田口森林整備部長が、「シカ食害に対して、各機関で取り組んでいる成果等を共有して意見交換を」との挨拶を述べました。



本検討会には、四国四県はもとより、石川県、京都府等からの自治体や試験機関、森林組合等からの参加者(14名)とともに、技術開発担当者も、積極的に意見交換等に参加しました。

2日間の会議を通じて得られた情報や学んだ成果を今後の業務に活かしてください。

(写真は、モウソウチク等を活用した簡易な苗木防護器材の説明)

### 編集後記

暦は最後の頁に。

この1年のご愛読に感謝。

西年もよろしくお願ひいたします。(課員一同)

## 次の世代へ 「古事の森」を整備しました。

雨あがりの11月19日(土)に、愛媛森林管理署管内のサル谷山国有林(愛媛県久万高原町)に設定している※「伊予之二名島古事の森」で、今年度2回目の整備事業を実施しました。

古事の森活動は、平成19年度に「伊予之二名島古事の森育成協議会」との協定に基づき、松山城や道後温泉本館など「木の文化」を象徴する伝統的な木造建築物の修復材を安定的に供給するための取組です。

当日は、一般公募による参加者を含む15名で、植生保護管(ヘキサチューブ)を取り外し、運び出す作業等でした。

参加して頂いた皆さま、ご苦労さまでした。(写真)



(※古代において、四国を伊予之二名島と呼んだ)